



	行動目標	担当患者(目標単位数) 経験患者レベル等	OJT ※Off JT、SDSは別紙参照	評価	面談	
	・対象疾患について理解する				教育者面談	
7月		担当患者:5~6名 (10単位/日)			振り返り面談	
8月	・必要に応じて教育者に助言を求め、実施できる ・最大介助のトランスファーを安全に行うことができる	担当患者:6~7名 (11単位/日) 移乗が多介助レベル 重症患者も担当			中旬:新人面談 振り返り面談	
9月	・必要に応じて教育者に助言を求め、実施できる ・多疾患併存患者のリスク管理ができる	担当患者:6~7名 (11単位/日) 多疾患併存患者も担当	・必要に応じて助言し、多疾患併存患者のリスク管理をしながら担当患者の評価・治療を実施	全般的な能力評価 CEPT  臨床能力評価 Mini CEX	振り返り面談 新人面談 教育者面談	
10月~ 12月	・必要に応じて教育者に助言を求め、実施できる ・患者や家族に対して患者教育、指導など適切な対応ができる ・一般業務が自立して実施できる ・他職種と情報共有できる	担当患者:7~8名 (12単位/日)	・リスク管理および社会背景等を考慮しながら独力で担当患者の評価、治療を行うことができる。 ・患者・家族への自主練習・介助方法の指導ができる ・科内業務を独力で正確に遂行できる ・カンファレンスにて他職種に対し、専門職としての意見が的確に伝わるようカンファレンス記録を書く	全般的な能力評価 CEPT (12月)	振り返り面談 (毎月末) 新人面談 (11月中旬、12月末)  教育者面談 (12月)	
1月~ 3月	・必要に応じて教育者に助言を求め、実施できる ・患者や家族に対して患者教育、指導など適切な対応ができる ・一般業務が自立して実施できる ・他職種と情報共有できる ・1年目の振り返りと2年目の目標設定	担当患者:7~8名 (13単位/日)	・リスク管理および社会背景等を考慮しながら独力で担当患者の評価、治療を行うことができる。 ・患者・家族への自主練習・介助方法の指導ができる ・科内業務を独力で正確に遂行できる ・カンファレンスにて他職種に対し、専門職としての意見が的確に伝わるようカンファレンス記録を書く	全般的な能力評価 CEPT (3月) 臨床能力評価 Mini CEX(2月) 科内症例発表会 (3月)	振り返り面談 (毎月末) 新人面談 (2月中旬、3月末) 教育者面談 (3月)	
2 年 目	4~6月	・必要に応じて教育者に助言を求め、実施できる ・患者や家族に対して患者教育、指導など適切な対応ができる ・一般業務が自立して実施できる ・他職種と情報共有できる	13単位/日	・リスク管理および社会背景等を考慮しながら独力で担当患者の評価、治療を行うことができる。 ・患者・家族への自主練習・介助方法の指導ができる ・科内業務を独力で正確に遂行できる ・教育者助言のもと、応用的治療を行うことができる	全般的な能力評価 CEPT(6月)	振り返り面談 (5月中旬、6月末) 新人面談 (6月末) 教育者面談 (6月末)
	7~9月	・必要に応じて教育者に助言を求め、実施できる	14単位/日		振り返り面談 (8月中旬、9月末)	

	行動目標	担当患者(目標単位数) 経験患者レベル等	OJT ※Off JT、SDSは別紙参照	評価	面談
10～ 3月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク管理および社会背景等を考慮しながら独力で担当患者の評価、治療を行うことができる。</li> <li>・科内業務を独力で正確に遂行できる</li> </ul>	全般的な能力評価 CEPT(9月) 臨床能力評価 Mini CEX(9月)	新人面談 (9月末) 教育者面談 (9月末)
	・2年目の振り返り	14単位/日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育者助言のもと、応用的治療を行うことができる</li> </ul>	全般的な能力評価 CEPT (12月、3月) 臨床能力評価 Mini CEX(2月) 科内症例発表会 (3月)	振り返り面談 (11月中旬、12月末、2月 中旬、3月末) 新人面談 (12月、3月) 教育者面談 (12月、3月)